

# 第49回原電前抗議行動報告

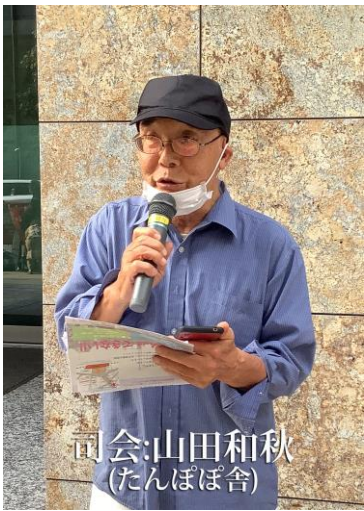
2022.8.3

## プログラム

- ・開会のあいさつ
- ・シュプレヒコール
- ・主催者スピーチ
- ・突撃インタビュー
- ・告知・鎌田さんとの対話
- ・申入書読上げ①
- ・首都圏連絡会
- ・申入書読上げ②
- ・反原発自治体議員・市民連盟
- ・脱原発スピーチ
- ・行動提起
- ・シュプレヒコール
- ・おわりのことば

参加者人数:56名 ¥100カンパ金額: ¥ 10,605





司会:山田和秋  
(たんぼぼ舎)

今回の司会は山田和秋(たんぼぼ舎)。「今日ここへ来るときにゲリラ豪雨に遭いました。しかし、我々がゲリラで、こんな雨に負けている場合ではない！」という強いこの抗議行動への決意表明で第49回原電前抗議行動が始まった。



シュプレヒ・コール  
中村泰子  
(首都圏連絡会)

シュプレヒ・コールはいつも通り中村泰子(首都圏連絡会)。司会の山田さんのゲリラ豪雨を吹き飛ばすほどの決意表明と同様に、中村さんのいつもながらの力強いシュプレヒ・コールによって、参加者の脳裏から完全にゲリラ豪雨のことは消え去ったかのように思えた。



主催者スピーチ  
柳田真  
(たんぼぼ舎)

#### スピーチの要旨

たんぼぼ舎の柳田です。電力逼迫という話が流されて電気が足りないとして原発が再稼働されようとしている。この風潮の間違いを述べて最後に私たちの行動を一つだけ言いたいと思います。

6月27日、一か月ちょっと前、電気が足りなくなるという話が出てましたね。予備率は3%。ところが実際に終わってみたら予備率は10%だったんですよ。これ、後から考えると完全に騙されたんですよ、経産省と政府に。何となく電気代が高くなったり、そして、電気が足りないなあと思ってるもんで、予備率3%という経産省と東電の宣伝に騙されてしっかりその気になってしまった。そして挙句の果てに岸田自民党首相が原発9基を稼働すると言いましたね。その後のNHKの世論調査ではそれに対して賛成が60%、反対が30%と賛成の方がグッと上がったんです。

つまり「電気が足りない」とウソを言って世論を誘導した。そして原発再稼働にもってきたと、こういう点です。よくみなさんの

中にも電気が足りないんじゃないか、と思っている人がいるかと思うんですけど6月27日の時には10%余っててあれはごまかしだったと、世論誘導だったということをもっと覚えて下さい。

次に本当に電気が足りないのか。かなり逼迫するかも知れません。しかし今回の原発9基は全く役立ちません。あれ全部関西なんです。東京圏は一つもないの。みなさん11年前覚えてますよね。東京が計画停電。ところが関西の方は電気が余ってて売りたいくしょうがなかったと。ところが関西から東京に送らなかつたんですね。なぜか、50ヘルツと60ヘルツがあるんです。この変換所をつくればグッと楽になりますね。11年前に120万キロワットの変換所でしたが、それが10年間経ってわずか90万キロしか増えてない。今210万なんです。それを数年間かけてやっと300万キロワットにすると。

つまり、11年前に増やさなければいけないということだったのですがたかだか90万キロワットしか増やしてない。これを数年で500万キロワットくらいにしておけば、原発で言う3~4基分になります。この500万キロワットにしておけば東京圏の停電はなかったんです。つまり早く変換所を11年もサボってつくらなかった東電と経産省の政策の失敗なんです。そういうことも覚えましょう。その上でなおかつ、石油火力が10基くらい余ってます。動かさないでね。それは(東電と中電がつくった) JERAに聞けば教えてくれます。メンテナンスもやっていつでも要望があればパッと動かせます。石油火力9基近く、800万キロワットくらいあるんですよ。ですから全く電気の心配はありません。

この6月27日の、電気が足りないと脅して原発再稼働にもっていきこうと、こういう雰囲気づくりに残念ながら政府は成功したんで

す。それを踏まえて今後の運動、今後もそういう宣伝がされます。しかしそれは原発を動かせば解決するものではありません。原発は事故を一番起こしやすい。そして復旧にも一番時間がかかります。

今回、みなさんにお配りしたピラの中で8月27日、茨城の水戸で1000人近い大集会が開かれます。3年ぶりですね。でこれに、私たちも大型バスで行って一緒に連帯しよう。8月27日、先ほどピラもお配りしました。そういうかたちで原発を再稼働しようという動きに対して反対の声を盛り上げよう。私たちはこの原電本店前でもやっておりますが同時に、茨城の現地の集会にも応援に行く。併せて東海原発の現地がどんな具合になっているか、街の真ん中にある原発の危険性をちょっとだけですが見て帰ってこようと、こういうかたちで考えております。

電気が足りない、電力逼迫のインチキ性、世論誘導にダメされないで引き続いて、原発はいらない、原発は早くなくせ、大惨事が起きる前になくせ、東京を放射能の街にしたいくない。一緒に頑張りましょう。



今回も昇り龍が登場した



電力逼迫のウソ宣伝に  
ダメされるな!





### スピーチの要旨

ピンチヒッターで急遽話すことになった菅井ですが、私はこの2回くらい来れなかったんですがずっと新潟の選挙運動がありまして、残念ながら県知事選も参議院選挙も負けました。本当は負けるはずではなかったんですけどなぜ、こうなったかというのはおそらく皆さんもだいたいご存知かと思いますが、何か日本の労働運動が自分たちの政策を政府に実現してもらおうなんて、そういうさもしいことを言い出したことが問題だと思うんですよ。そういう労働運動では負けるに決まっています。したがって彼らは去年くらいの段階から自公連合の現職知事を応援すると。選挙戦が始まる前からそんなことを言ってきたので、「そんなんではダメだ、原発どうするんだ！」と言ったら、「いや、原発はしばらく動かないからほっとけばいいんだ」

なんて言ってるわけで、そうはいかないわけですね。そこで私の知り合いの奥さん、奥さんといってもなかなかの活動家で経済家で新潟県の経済同友会の副会長までした人ですけども、彼女は、「みんな、だらしがないね、私が出るよ」と言って出てくれたんですけど、なかなか連合が初めからそういう態度なものですからなかなか闘いが上手くいきませんでしたけど、私はみんなよく頑張ったと思います。私も頑張りましたが残念ながら県知事選は負けました。

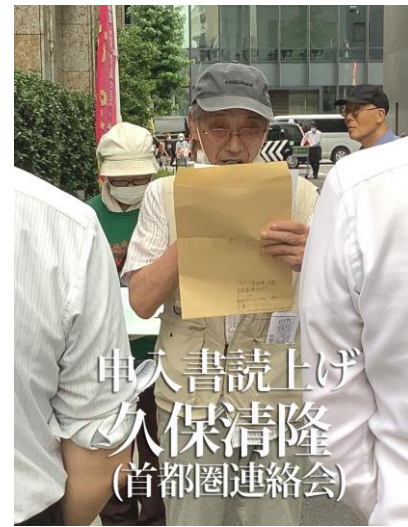
ちょっとその時のしこりがあるんですけど、何とずっと当選していた森裕子さんもちょっとの差で敗れてしまっていて、我が脱原発運動の方としてはですね、森裕子さんは、「子ども被ばく法」ですね。これを制定するのにおおいに活躍した人ですけども、今回残念ながら国会から退くことになりましたけどまあ、本人はまだやる気だと言っておりますので私たちもこれから応援していきたいと思っております。どうもありがとうございました。



4月の30日に日比谷の図書館の大ホールで行いました、鴨下全生君と鎌田慧さんの初めての面談ですね。その時は全生君が初めて駆けつけてくれて一緒にアピールをさせて頂きました。今日は沖縄と福島からこの場に残念ながら駆けつけることはできませんけども、代わって一言宣伝させていただきます。

昨日東京新聞に紹介されました、今お配りしているチラシに書いてありますのでぜひ、参加して頂きたいと思っております。8月13日午後2時から開演です。鎌田慧さんと、沖縄で遺骨収集と遺族へ帰すという活動をしている具志堅隆松さんと、福島でお嬢さんの遺骨を今も捜索中の木村紀夫さんの対話が行われます。

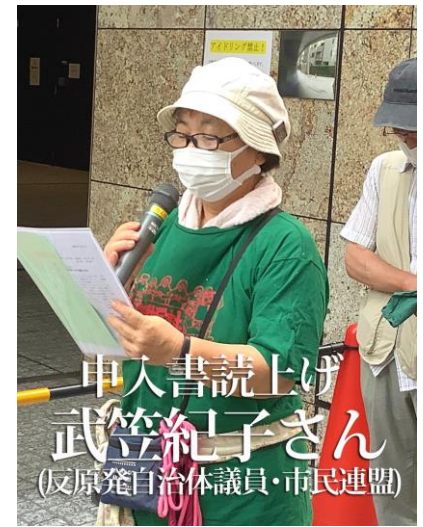
一人一人の命の大切さについて改めて考えていきたいと思っております。どうぞみなさん、ご協力お願い致します。ありがとうございます。



### 申入書の要旨

今回の首都圏連絡会の申し入れは、昨年3月18日に水戸地裁で下された判決について改めて触れ、それに対して控訴した日本原電の姿勢を正すことを目的としたものだった。

具体的には、水戸地裁が判決の判断指針としたIAEAが定める深層防護において、原電が、深層防護5の不充足性を指摘した水戸地裁の判断基準に矛盾がある、とすることに対して、原電は11年前の福島原発事故が及ぼした社会に対する損害について何らその重大性を顧みずに再稼働に邁進しているとし、その姿勢を強く正すものだった。



反原発自治体議員・市民連盟の申し入れは、東海第二の再稼働は4つの理由からしてはいけない、とするものだった。

第一に、茨城県は日本で最も地震の多い地域の一つであること。

第二に、原電が算定した東海第二の地震基準動があまりにも将来起こる可能性のある地震動に準拠していないこと。

第三に、従前から指摘されていた東海第二の安全対策工事の不十分性が今なおほとんど改善されていないこと。

第四に、東海第二周辺30キロ圏内の避難計画が従来から不十分であるが、未だもってほとんどもしくは全くその計画の充足性に变化がないこと。

の4つの指摘をもって東海第二の再稼働は絶対にしてはいけないこと、であることを示したものだ。





脱原発スピーチ  
上野通子さん  
(東海第二原発いらない!市川の会)

### スピーチの要旨

みなさん、暑い中お疲れ様です。東海第二原発いらない!市川の会です。私は上野と言います。今日は発言の機会を与えて頂いてありがとうございます。

11年前の福島原発事故の時、市川市内でもあちこちに放射線量の高いところがあり、市民で線量を測定したり市川市との交渉などにも取り組んできました。だから、より近い東海第二原発は絶対に再稼働させてはならない、という気持ちで取り組んでいます。

まず、この会をつくったきっかけを話したいと思います。昨年9月に、'東海第二原発いらない!一斉行動'がありまして、その首都圏ネットワークの呼びかけに応じて市川でもアピール行動をしようと、市川在住のたんぼぼ舎のボランティアの方や避難者裁判を支援している者や刑事裁判を支援をしている人や市民団体で活

動している者など6人が集まりました。で、市川でどうやってアピール行動をしようか、とか当日のこととか、呼びかけ方法をどうしようかなどを話し合っ、チラシもつくって、とっても安易なんですけど団体名を'東海第二原発いらない!市川の会'ということにしました。

その後、第2波の一斉行動を行った参加者の中で、「市川でのアピール行動、これ毎月やりましょう!」という意見が出て、そういう流れになりました。で、去年のその時の段階では、翌年に東海第二が再稼働される、ということもあったので、関東の原発は私たちが止めなくちゃ、という思いでした。

そしてその頃、福島原発事故避難者裁判の千葉訴訟も最高裁での闘いになっていました。最高裁署名をみんなで集めていたので、市川のアピール行動の時にもその署名活動も一緒にやろうということになりました。その、どんなアピール行動をしているのかを紹介させていただきます。

みなさんも思っていると思うのですが、駅前

のアピール行動って関心のなさそうに通り返る人が多いですよ。だから少しでも目立つようと、また、自分たちも楽しくなるようにと、それを心がけてきました。で、具体的には、4枚の横断幕を広げて、1枚がこれなんですけど、あとはみなさんも持っている、'東海第二原発いらない!'の横断幕とか、あと日付も書いた市川一斉行動の横断幕とか、'避難者に十分な補償を!'の4枚の横断幕を広げて、バナーとか大型パネルも設置しました。そしたら立ち止まらなくてもこちらに目を向ける通行人がいたりします。また、チラシ配りや署名集めをやっている時も、'何のチラシなのか' '何の署名をやっているのか'を分かるように、今私たちが着けているゼッケンもつくりました。

チラシは、女の子のチラシ(首都圏連絡会公式チラシ)はかわいい女の子のイラストが描いてあるのでみんな取ってくれるかな、と思い、その中に水戸地裁のリーフレットとか避難者裁判のチラシなどを挟んで配っています。



避難者裁判の横断幕も掲げて訴えている

で、スピーチは東海第二原発の危険性とか、他には避難者裁判のこと、東電の刑事裁判のこと、避難者住宅追い出し裁判については毎回話しています。そのほか参加者の自由なスピーチもしています。そして、そのスピーチの合間に替え歌を2回入れて、鳴り物を鳴らして賑やかにしています。

で、これまで雨で場所を変えたり、駅の反対側で駅の情宣をしていた右翼のせいだと思うのですが、駅員さんが、「苦情がきたから」ということで場所の制限をされたりとか、私が横断幕を電車の中に忘れてしまったりとか、いろいろトラブルもあったんですけど、みんな明るく協力合っていました。

で、慣れないチラシ作成には苦労しているのですが、この場や東電行動の場や経産省前の金曜行動などで配らせてもらって、そのチラシを見て市川行動に来てもらったりして感激して励まされています。

私たちの会は階職も会議もなく月一のアピール行動をするだけの会ですがこれからも頑張っていきたいと思っています。宜しくお願いします。最後に、市川アピール行動で歌っている替え歌を歌って終わりにしたいと思います。で、作詞してくれたのは隣の山本さんで、いつも歌ってくれるのは歌姫の石川さんです。



東海第二うごかすな!の歌を披露





## 日本原電6人衆

今回の日本原電6人衆のメドレーは、♪1. 原電前の闘志 by 右田春夫、♪2. 海を汚すな by 生田まんじ、♪3. 君と僕の未来 by マールハートバンド、♪4. くだばれゲンデン2022(元歌:おしゃれ番長) by ジョニー・H の4曲。

♪1. の原電前の闘志 は、右田さんの切り札のブルース歌唱で、超スローでの歌唱だった。そのスーパースロー調の歌唱にクラシックギターの旋律がその場の空気を完全に支配しながら途中からテンポが速くなり、最後まで参加者を飽きさせない曲の展開だった。

♪2. の海を汚すな もスローなテンポでの入りから始まったが若干ビートの早い曲展開で、まんじさんの低い歌声から1フレーズの終りの部分はかなり高いキーでの歌声となり、そしてこの曲全体を通してギターとパーカッションがまんじさんの歌声を引き立てていた。

♪3. の君と僕の未来 は、マールハートバンドではなく、2曲目に続いてまんじさんがボーカルを担当。定番の早いビートではなく、前曲のビート感そのまままんじさんが歌い上げ、少しPOP感も醸し出してブルース曲に仕上げられていた。

最後のくだばれゲンデン2022 は、歌詞に原電へのいやみ全開のジョニーさんの得意なしゃれが効いていた。曲調は前曲とほぼ同じ速さとキーの高さで、ここでもパーカッションが曲の詞を引き立てていた。

全体として、♪1が超スローな展開であとは少しキーが高めなブルース調に仕上げられていた。真夏の暑い中でのこの展開、聴いてる方としては気温が高くても気持ちの温度を下げる効果があり、参加者はおそらく涼しげな気持ちで聴けて、歌えて、いたのではないだろうか。



行動提起  
横田朔子  
(首都圏連絡会)

首都圏連絡会の横田さんから、①8月26日(金)の金曜官邸前行動、②翌日の27日(土)の茨城大集会、③9月9日(金)、10日(土)、11日(日)の一斉行動、④9月7日(水)の第50回原電前抗議行動の4つの行動提起がされた。

どれも大切な行動だが、②の27日(土)の茨城大集会において、3年ぶりに行われ、茨城が一致団結して東海第二反対の運動行う上での重要な行動であること、③の一斉行動において、首都圏を中心に全国に東海第二反対の声を広げている重要な行動であることが強く訴えられた。

このあといつも通り首都圏連絡会の中村さんのシュプレヒ・コールがあり、司会・山田さんのおわりのことばをもって第49回原電前抗議行動は幕を閉じた。

そして行動提起で記しましたが、

- ・次回(第50回)の原電前抗議行動は9月7日(水)17:00～、
- ・その後の東電前抗議行動は18:45～
- ・8月26日(金)は官邸前金曜行動
- ・翌27日(土)は茨城大集会
- ・9月9日(金)～11日(日)は一斉行動・第5波です。

